

平成 20 年度事業計画

グローバル化の進展に伴い、我が国に在住する外国人の数が増加の一途を辿っています。政府や関係省庁においても、我が国で生活し、就労する外国人への日本語教育の充実が重要な課題として取り上げられ、日本語教育の果たす役割はますます重要なものとなっています。

当協会は、新たな時代の要請に応えて、対象別の日本語教育の研究開発により一層努めてまいります。多様化する日本語教育のニーズに応え、個別のコースデザインによる、質の高い日本語の授業及び業務の提供を行い、公益法人として社会に貢献していく所存です。

日本語授業部

1. 社会人に対する日本語授業

ビジネス関係者、外交官及びその家族等に対する授業をプライベートレッスン、企業・機関向けプログラムの形態で実施する。ビジネス関係者に対する日本語授業は好調を維持しているが、レベル、学習内容がさらに専門的に、多岐にわたるようになっており、教師の教育能力の向上、強化が必要となっている。また、レッスン時間も早朝、夜、週末、毎日数時間の集中授業など、希望が多様化している。世界経済の変動の影響を最小限にするためにも、内容とともに時間帯にもなお一層柔軟に誠実に対応していく。

2. 常設クラス

協会事務所で開催している常設クラスは、主にビジネス関係者とその家族を対象に初級から中上級まで開講する。初級コースは Japanese for Busy People シリーズを使用、改訂版の完成に合わせてコース内容や教材も一新した。中上級コースは、中級会話クラス、Japanese for Professionals 使用のビジネスに比重を置いたクラス、日本語能力試験 2 級対策クラスなどを開講する。初級コースの希望者が定員を上回るようになってきているため、少しでも多くの学習者に対応できるように検討する。

対象別教育養成部

1. 留学生に対する日本語教育

少子化に伴い、留学生が日本で就職し、日本社会での戦力になることへの期待がますます大きくなっている。当協会が培ってきたビジネス関係者への教育のノウハウを生かし、ビジネスの現場から見た留学生への日本語教育という視点に立ち、当協会の特性を生かした留学生に対する日本語教育に取り組んでいきたい。

- (1) 国士舘大学 21 世紀アジア学部の留学生に対する授業を担当する。同大学の授業は担当 5 年目に入る。平成 19 年末に 3 冊の教材をまとめた。今後、更に、開発したシラバスや教材を活用できるようにまとめていきたい。
- (2) 職業能力開発総合大学校の留学生の予備教育、学部学生の補完授業、日本語能力試験対策クラスを担当する。6 ヶ月の集中予備教育では、学生の日本語能力に合ったシラバス、教材を選択し、効率よく日本語力を獲得させていく。また、自律的に研修後も日本語力を向上させていけるよう基礎力の強化を図る。

- (3) 企業の要請による留学生・就学生のアルバイト先における日本語の研修を月1回、1年間実施する。現場における日本語のニーズや企業の要望に応じて、新規の企画を開発実施していく。

2. 研修生に対する日本語教育

(財)国際研修協力機構が支援し、企業が受け入れる研修生に対する授業を実施する。当協会が開発した研修生向けテキストを使用した授業の実践を継続していく。また、内部研修を実施し、会員の日本語授業の質を更に向上させることを目指す。

3. 年少者に対する日本語教育

小、中、高等学校に在籍する外国人児童・生徒に対する日本語授業を継続する。また、国内の年少者に対する日本語支援者の養成・研修講座を企画実施する。日本の小、中学校の児童生徒を指導する教員及び支援者向けの研修とインターナショナルスクールの児童生徒に教える教師向けの研修との2種類を実施する。また、(財)博報児童教育振興会が招聘する海外の日本語教師及び児童生徒に対するプログラムの日本語教育及び教師研修を担当する。

4. 地域の日本語支援ボランティア講座

全国各地の国際交流協会や自治体等からの依頼により、地域の日本語ボランティアに対する研修講座を実施する。地域の特性に応じた個別のニーズに応え、支援者の活動を拡大促進するような講座を企画、実施する。

5. 難民に対する日本語教育機関への講師派遣

(財)アジア福祉教育財団難民事業本部が運営する条約難民に対する日本語教育を、当協会所属教師を中心に教師集団を組み担当する。一昨年から授業の研究開発を更に進め、レベル差のあるクラスの運営、学習者の自律的学習の研究開発及び教材開発を継続する。

6. 海外日系人教師に対する研修

独立行政法人国際協力機構が招聘する日系人日本語教師への研修を基礎1、基礎2、速成、専門の各コースを担当する。

人材育成開発部

1. 第24回日本語教師のための公開研修講座

日時：平成20年6月28日(土)13:00～16:30、29日(日)10:00～16:30

場所：昭和女子大学(予定)

テーマ：ことばを育む共同体をつくる(仮題)

- 内外の大学・日本語学校・生活者受け入れ機関での実践から -

講 師： 佐々木倫子先生(桜美林大学)、矢部まゆみ先生(津田塾大学)、
佐藤慎司先生(コロンビア大学)、遠藤ゆう子先生・佐藤正則先生(アークアカデミー)、
内藤真知子(AJALT、RHQ 支援センター)

2. AJALT 対象別日本語教え方講座

一般成人向け初級教え方講座、年少者向け教え方講座、技術研修生向け教え方講座、「ビジネス日本語」教え方講座等を実施する。

3. 機関誌「AJALT」31号の発行

平成 20 年 6 月 10 日発行予定。特集テーマ「仕事と日本語(仮)」

4. 「AJALT 日本語研究誌」第 4 号の発行

平成 21 年 3 月発行予定

5. 会員研修

(1) 新入会員研修の実施

協会新入会員に対して、4 月から 7 月まで 100 時間の基礎研修を実施する。

(2) 会員教師定例会の実施

現職教師会員のための定例会員研修を月 2 回設け、外部講師および協会内部講師による講義、分科会活動等を実施する。

(3) 内部研修の実施

教授法研究、教材開発および教授能力向上を目指し、会員向けの対象分野別の内部研修等を実施する。

6. 教材開発と出版活動

(1) 一般成人向け教材『Japanese for Busy People』シリーズ

平成 19 年度から引き続き、『Japanese for Busy People』シリーズを補足し、付加価値をつけるオンライン教材の企画・制作を行う。

(2) 年少者向け漢字教材『かんじだいすき』シリーズ

2 年計画の 2 年目として『かんじだいすき・復習版(仮)』の企画開発、制作を行う。

(3) 2 年計画の 2 年目として『新聞からコミュニケーションへ - 新聞等によく使われる必須表現例文集』の企画開発・制作を行う。

(4) 外国籍児童生徒のための学校生活紹介教材『ようこそ！さくら小学校へ』DVD および上記出版物の販売促進、普及活動を行う。

(5) 米国ニューヨークにおけるワークショップの開催

米国の日本語教師を対象に平成 19 年度に完成した『Japanese for Busy People』シリーズ改訂版を活用した指導法研修をニューヨークにて行い、同テキストの普及活動を行う。

総務広報部

1. 広報・宣伝

英字新聞、日本語教育関連雑誌、WEB サイト等に協会事業の案内及び広告掲載、地下鉄駅ポスターの掲示、外国人向けリロケーション会社、スーパー、クリニック等へのチラシ設置などを継続する。

2. 親睦交流

会員間の親睦を図る新入会員歓迎会、新年会、及び学習者、賛助会員等を招待して文化交流を促進する AJALT 交流会を実施する。

3. 賛助会員・寄付の募集

協会事業の公益性、重要性を訴え、賛助会員、寄付の募集を継続する。

4. 会員広報

会員へのニュースレター、「AJALT ニュース」を月 1 回発行する。

5. ホームページ

協会事業プログラム、出版物の案内、問合せ、申込み受付等に加え、ブログを活用した双方向学習コンテンツについて充実していく。

6. 事務所・教室環境、機能の充実

事業の多様化と拡大に対応できるよう、設備、器材を中心に事務所インフラの整備を行い、教室機能の充実を図っていく。

7. 公益法人制度改革への対応

平成 20 年 12 月 1 日より施行される新法、新制度を見据え当協会のあり方を検討し、その対応を図っていく。

8. 会議開催

平成 20 年度第 1 回理事会、評議員会を平成 20 年 5 月 14 日(水)に、第 32 回総会を同年 5 月 22 日(木)に開催する。

以上